

# 平成 26 年度学校評価結果公表シート

学校法人 大藤学園

## 1. 大藤学園の教育目標

<b>体</b>	健康で、明るく、たくましい子ども (精神的にも豊かな個性のある意志の強い子ども、どんな困難をもっても克服する努力を続けるたくましい子ども) 健康なからだづくり(マラソン・サッカー・跳び箱・体操)
<b>知</b>	考える力を育てる 知識欲・好奇心が旺盛な子ども 創造性豊かでやる気のある子ども
<b>心</b>	「ありがとう」「ごめんなさい」と素直にいえる子ども 思いやりあるあたたかい心を持つ子ども 美しいものに感動できる豊かな心を持つ子ども

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

大藤学園の「こども・職員が幸せになるプロジェクト」の方針を踏まえて、実際の仕事内容と労務管理、幼児の実態と行事・保育内容のバランスを見直し、プロジェクトを推進するうえで、職員間の連携と意識統一を図る。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況	評価
(1) 行事におけるねらいを幼児の実態に合わせ、労務管理も合わせて見直す。	<ul style="list-style-type: none"><li>・クラスの実態に即したねらいの設定を行った。</li><li>・ねらいを達成するための保育の組み立てを話し合う事で保育者間の共通理解ができ、意識統一ができた。</li><li>・労務管理において、仕事内容、取り組み状況をオープンにして発信することで、助け合うことができた。</li></ul>	<b>B</b>
(2) 幼児一人ひとりの個性、特性に合わせた保育をこころがけ、保護者との共通理解を務める。	<ul style="list-style-type: none"><li>・こども一人ひとりに寄り添うことで、保育を工夫することができた。</li><li>・懇談を年3回設けた事で、保護者と話し合うことが増え、家庭との共通理解・コミュニケーションが深まった。</li><li>・どの保護者に対しても、偏りなく連絡を取ることを心掛ける。</li></ul>	<b>B</b>

<p>(3) プロジェクトの方針を踏まえ、新しい取り組みにおいて職員間で共通理解・意識統一に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何事にも目標やねらいを持つことで、変えたり・仕分けができることがわかった。</li> <li>・何を大切にすべきかを常に考え、子どもの実態に合わせて新しい取り組みにチャレンジしていく。</li> <li>・職員が「決まったから行う」のではなく、理解・納得して取り組むことが重要である。</li> <li>・園が何のために取り組んでいるのかを、保護者に発信していくことで、園と保護者とお互いの理解が深まることが実感できた。</li> </ul>	<p><b>C</b></p>
--	---	-----------------

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
<p><b>C</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に取り組むことを具体化したことは、カリキュラム・行事でのねらいが立てやすく、取り組む方向性が意識統一できた。</li> <li>・新しく取り組む事で、見えてくることも多く手応えが感じられたが、課題も多く成果としては不十分な点があり継続が必要。</li> <li>・仕事の「見える化」を全員が意識すると、より効率化が進むと思う。</li> </ul>

#### ◎「3. 4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p><b>仕事内容の精査 (労務管理)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間内に終わるべきことにおいて、経験年数で差が出ないように分担を考える。</li> <li>・年長者は若い職員の仕事のペースを把握する。</li> <li>・一人の負担が大きくなるように、仕事の内容、状況を発表しそれぞれがわかるように「見える化」する。</li> </ul>
<p><b>カリキュラムの改善</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の見通しに沿った年間・月間の見直し。</li> <li>・その年の子どもの実態に合ったカリキュラムを作成する。</li> <li>・行事のねらいの見直し</li> </ul>